

# 2019年度 講師派遣

生涯学習支援プログラム / 研修支援プログラム

## 東洋大学の講義を全国各地にお届けします



2019年、東洋大学  
創立者・井上円了の没後  
100周年を迎えます。

知を紡ぎ、知を繋ぐ、

円了が伝える、教育普及の志。

東洋大学の創立者であり哲学者である井上円了博士は、明治23年から大連での最期を迎える大正8年まで、哲学の普及を目指して国内外を巡回し講演活動を行いました。

その数は記録にあるだけでも2198町村・5291回にのぼります。

そして今日、円了の教えを受け継ぐ本学は、大学の講義を全国各地にお届けする「講師派遣」をはじめ、多くの方々に開かれた学びの場を提供する取り組みを積極的に展開してきました。

この鞆は、円了が最後を迎える日まで、巡講をともした愛用の品です。

鞆ひとつで全国を巡り、明治の日本に新しい教育の場を開こうとした円了の情熱を今に伝えていきます。

大きな節目となるこの機に、いま一度、創立者・井上円了の「志」に立ち返り、本学が持つ「知」を活かして、社会への貢献を推進いたします。



東洋大学

「哲学する心」の  
軌跡とこれから

The Foundation and Future of Philosophical Mind  
~井上円了没後 100 周年~

THE CENTENARY OF THE DEATH OF ENRYO INOUE



## 井上円了没後100周年

# 創立者「井上円了」

## 日本を世界に拓く。 哲学教育の礎を築いた情熱。

1858（安政5）年、慈光寺の長男として生誕。10歳で明治維新を経験し、漢学・洋学を学ぶ。23歳の時、設立間もない東京大学文学部哲学科にただ1人の1年生として入学。幼少期より身近にあった「仏教」を西洋哲学の目で見直し、「諸学の基礎は哲学にあり」と確信すると、1887（明治20）年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。「哲学の研究・普及が文明を発展させるために不可欠」と考え、著作と大学教育による哲学の普及に身を捧げ、「東洋の日本」から「世界の日本」を志し、海外を視察するなど、明治時代の日本で新しい教育の扉を開くことに尽力した。1919（大正8）年、中国大連での講演中に倒れ、61歳で逝去。



### 世界を知る、先陣を切る

円了は、生涯において自分自身の目で確かめることを大切に、3度の長期世界視察を経験しました。海外旅行も難しかった時代に、欧米や南米の異文化に触れることで、宇宙主義と日本主義を体感しました。そして、世界で得られた見聞を大学教育の理念とし、さらに後の全国巡講により民衆に伝え、急速な欧化主義に流される日本において多様な価値観を学ぶ機会を設けました。この思想は21世紀の東洋大学においても「グローバル人材の育成」という基本方針に継承されています。

### 学ぶ喜びを広める、 全国巡講の旅

晩年の円了は、日本全国をまわる壮大な講演旅行「全国巡講」を行いました。この講演は、海外視察で学んだ大学教育、社会教育に触発され、「言論の自由」「人格の尊重」などの社会教育や生涯学習の広範な普及を目指したものでした。27年間にわたるこの旅は、現在の市町村の約60%に足跡を刻み、5,291回<sup>\*</sup>の講演活動を行った円了は、中央と地方の間で今以上に大きな格差のあった明治時代において、社会教育のパイオニアだったといえます。

※15編の「南船北馬集」に記録が残されている1906（明治39）年から1918（大正7）年までの13年間の講演回数。

### 教育の門戸を広げる志

円了が私立哲学館を創立した際の趣意書には、「余資なく優暇なき者に教育機会場の場を開放する」とあり、学ぶ意志があっても経済的・社会的に学べない全国各地の人々に、講義をまとめたテキストを送り自宅で学習できる「館外員制度」（現代の通信教育にあたる制度）を取り入れるなど、全ての人に教育の門戸を開くことに尽力しました。その大いなる社会教育の志は、現在の本学の「第2部・イブニングコース」などへと受け継がれています。



## ごあいさつ

2019年は、東洋大学創立者・井上円了の没後100周年にあたります。

これを記念して、本学創立期のあゆみと井上円了が果たした役割の大きさを振り返ります。

明治20（1887）年、明治期の哲学者井上円了は、本学の前身である「私立哲学館」を創立しました。当時29歳の井上円了は、「文明の発達は高等な知力によるのであり、その知力の発達を促すものは教育である。高等な知力を得るためには、それに相応しい学問に拠らなければならない」とし、その学問とは「諸学の基礎である哲学」であるべきという確信を持っていました。

明治の世は、日本が世界と出会った時代です。井上円了は、智慧を愛する哲学（philosophy）は、個々人の思考力を訓練するのに必要な学問であるとも考え、一般の民衆が「ものの見方や考え方」の基礎を身につけることにより、日本の近代化を促し、高尚な国づくりを推し進めようとしたのでした。

しかし、大きな志をもって哲学館設立に乗り出した井上円了に、開設直後から数々の災難が押し寄せました。暴風雨による新築校舎の倒壊、類焼による校舎の全焼など哲学館存亡の危機に見舞われたのです。そこで、困窮した井上円了は、創立当初からの相談者であり支援者であった勝海舟の助言を受け、日本全国を巡回して講演をしながら哲学館の教育の趣旨を説明し、民衆の支援を仰ぐことにしたのでした。

明治23（1890）年11月2日、初めての全国巡講に出発した井上円了は、その後各地で精力的に講演活動を重ねました。特に48歳から享年62までの14年間には、全国60市2,198町村2,831か所で5,291回、のべ1,306,895人の聴衆に向かって講演をしました。全国を巡回して行う講演活動は、哲学館の趣旨説明に止まらず、そのまま哲学の民衆への普及活動ともなり、中央と地方に大きな格差のあった当時の社会に、新しい風を吹き込みました。この講演活動は、いまだ教育の行き渡っていなかった明治中期における社会教育の実践、生涯学習の開拓・普及の意味を持つものであり、井上円了はこの分野でのパイオニアであったと言えます。

東洋大学では平成11年、創立者の社会教育への大いなる志を継承し、また、創立期に全国各地からいただいたご支援に対する感謝の心を込め、全国の人々の「生涯学習」支援を目的として講師派遣事業を始めました。この事業は、今年で21年目を迎えます。これまで順調に継続してこられたのも、多くの方々のご理解の賜物と深く感謝申し上げます。

加えて、平成27年度より企業や団体での「研修」支援を目的とした講師派遣事業が新たにスタートいたしました。グローバル教育の深化の一環として、本学が有する専門知識を様々な活動に役立てていただくことで、より一層社会に開かれた大学となることを目指します。

歴史から学び、それを教訓として未来へ歩みを進める現在が、また新しい歴史を作りだします。今や東洋大学は、13学部、大学院15研究科を擁するに至り、加えてさまざまな大型研究プロジェクトを推進する総合大学へと発展してきています。これらの教育と研究により培った叡智と技能をもって、これからも創立者の志を受け止め、社会教育・生涯学習に貢献していく責務があると考えております。

引き続き本学の講師派遣事業にご理解とご支援とを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



東洋大学 学長 竹村 牧男



# 生涯学習支援プログラム

知ること、学ぶこと、考えることに  
生涯終わりはありません。  
東洋大学は、日本全国どこへでも  
「学びの場」をつくるお手伝い  
にお伺いいたします。



多くのテーマの中から  
お好きなテーマを  
お選びいただけます

## 生涯学習支援プログラム 実施要項

### 1 事業内容

教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および幼・保・小・中・高等学校の教職員・PTA等で企画する講演会等へ本学の講師を派遣します。

### 2 派遣条件

- ・ 1 団体につき年間 1 回のみ、講師 1 名を派遣します。
- ・ 講演・講義時間は 50 分～90 分です。
- ・ 受講者が **30 名以上** の講演・講義を対象とします。
- ・ 受講者となる皆様には配付資料等により必ず「**本学社会貢献センター 講師派遣事業協力による開催**」である旨、お知らせいただきます。
- ・ 報告書のご提出および受講者の皆さんへのアンケート（本学作成）にご協力いただきます。

※受講料を徴収する講演会への講師派遣はいたしかねます。

### 3 講師派遣期間

2019 年 5 月 20 日（月）～ 2019 年 12 月 16 日（月）

### 4 申込受付期間

2019 年 4 月 1 日（月）～ 2019 年 10 月 16 日（水）

※開催予定日 **2 カ月前まで**にお申し込みください。

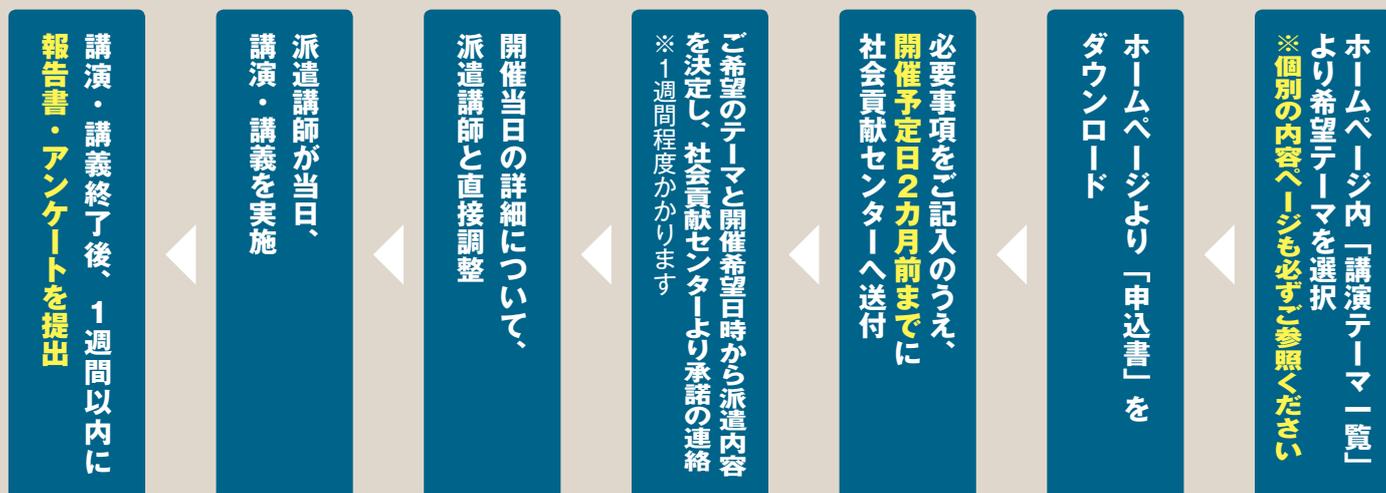
※ 9 月・10 月に開催予定の場合、7 月 12 日（金）までにお申し込みください。

### 5 諸経費

講師の講演料、日当、交通費、宿泊費等は、本学が負担いたします。

※講演会・講義の案内、会場の準備（使用機器を含む）に関わる経費は、主催者側でご負担ください。

## お申込方法と講師派遣までの流れ



「申込書」のご郵送先はこちら

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-2 東洋大学浦水会館1階  
東洋大学 社会貢献センター 宛

「申込書」のダウンロードはこちらから  
[www.toyo.ac.jp/site/haken/](http://www.toyo.ac.jp/site/haken/)

## point 2

派遣する講師の  
講演料・交通費・  
宿泊費は本学負担

## point 3

全国どこへでも  
本学の講義を  
お届けします

### 2018年度利用者の方から寄せられた声

#### 秋田県 由利本荘市

講演テーマ 二宮尊徳の思想を用いた「報徳教育」とは  
講師 須田 将司（東洋大学文学部教授）

- かつて報徳社支社社屋として活用されていた施設で、報徳教育の歴史を学ぶことが出来たのは大変有意義だった。仮に普通の施設で地元での報徳教育の歴史を学んだとしたら雰囲気がまるで違ったのではないかと思う。
- 今回の講演会は小さい頃から親しんだ施設での講演会であったため、自分の歩んできた歴史と地域の歴史を重ねあわせることができた。
- 講師が配布した資料が分かりやすかった。資料（昔の報徳社の雑誌コピー）に自分の祖母の名前が載っていて大変感慨深かった。



### 注意事項 ~ご依頼の前に~

- 講師派遣を専門とする教員はおりません。授業や教授会と派遣依頼が重なった場合は学内行事が優先となります。（第1～第3希望までご記入いただく際は、別講師をご記入ください。）
- 講師には年間の派遣上限回数がございます。毎年同一講師を選定することは避けていただくようお願いいたします。
- 申込書にご記入いただいた第1～第3希望の講師の中で授業等を考慮しながら調整をさせていただきます。第1希望の講師を派遣できない場合も多くございますので、ご了承のうえお申し込みください。
- 一度依頼した講師、テーマ、日時を変更することは一切できません。講演内容についての適否の判断や会場施設の確保等を行ったうえで依頼してください。
- 講演テーマの概要はホームページに記載しておりますので、事前に必ずご確認ください。
- 派遣する講師は会場周辺に不案内なことがほとんどです。最寄の駅からは極力送迎をお願いいたします。
- 派遣決定後、講演内容や使用機器等の詳細な打ち合わせ、および当日の待ち合わせ等の調整については、主催者側が講師と直接行ってください。
- 講演の記録（録音・録画）は事前に必ずご相談ください。
- 前年度、受講者が30名以下の団体への派遣は、検討させていただきます場合があります。
- 申込期間中であっても、当該年度予算上限に達した時点で受付を終了とさせていただきます。
- 3年連続でお申し込みされた場合は、次年度1年間お休みいただくこととなりますので、予めご了承ください。
- 講演会終了後は、必ず報告書のご提出および全受講者を対象としたアンケート（いずれも本学作成）にご協力ください。



# 研修支援プログラム

あらたな知識を得ること、実践することは、必ず自身の力になるはず。幅広いジャンルを持つ東洋大学の講義を、皆さまのスキルアップのためにお役立てください。



多くのテーマの中から  
お好きなテーマを  
お選びいただけます

## 研修支援プログラム 実施要項

### 1 事業内容

企業、各種団体等で実施する研修会等へ本学の講師を派遣します。

※幼・保・小・中・高等学校の教職員・PTA等の教育関係団体、または自治体などが企画する研修会については、別途相談とします。

### 2 派遣条件

- ・講師1名を派遣します。
- ・講演・講義時間は50分～90分です。
- ・受講者となる皆様には配付資料等により必ず「**本学社会貢献センター 講師派遣事業協力による開催**」である旨、お知らせいただきます。

### 3 講師派遣期間

2019年5月20日(月)～2019年12月16日(月)

### 4 申込受付期間

2019年4月1日(月)～2019年10月16日(水)

※開催予定日2カ月前までにお申し込みください。

※9月・10月に開催予定の場合、7月12日(金)までにお申し込みください。

### 5 費用負担

内 訳	料 金	算出基準
講師派遣料	3万円+税	講師1名あたり一律
交通費	実 費	講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費
宿泊費	11,000円	宿泊を伴う場合のみ

※算出基準は、東洋大学の規定に準拠します。詳細はお問い合わせください。

※上記費用負担の他、研修会の案内、会場の準備(使用機器を含む)に関わる経費についても主催者側でご負担ください。

### 6 支払方法

講演終了後に請求書をお送りいたしますので、所定の口座へお振り込みください。

## お申込方法と講師派遣までの流れ



point  
2

リーズナブルな  
講演料で研修等の活動  
にご協力いたします

point  
3

全国どこへでも  
本学の講義を  
お届けします

## 2018年度利用者の方から寄せられた声

### 福井県 福井県ホームヘルプサービス事業者協議会

講演テーマ 地域包括ケアをどう考えるか

講師 藤林 慶子（東洋大学社会学部教授）

- 限られた時間であったが、当方の要望を取り入れ、講義の他、演習も加えていただくなど、柔軟に対応いただきました。
- グループワークが多く、他の事業所の方と情報を共有したり、考えたりできて良かったです。
- 日常の業務での視点を改めて考えさせられました。利用者に対する思いやサービスへの要望など、どんどん包括につなげていくようにしたいです。



### 注意事項 ～ご依頼の前に～

- 講師派遣を専門とする教員はおりません。授業や教授会と派遣依頼が重なった場合は学内行事が優先となります。（第1～第3希望までご記入いただく際は、別講師をご記入ください。）
- 講師には年間の派遣上限回数がございます。毎年同一講師を選定することは避けていただくようお願いいたします。
- 申込書にご記入いただいた第1～第3希望の講師の中で授業等を考慮しながら調整をさせていただきます。第1希望の講師を派遣できない場合も多くございますので、ご了承のうえお申し込みください。
- 一度依頼した講師、テーマ、日時を変更することは一切できません。講演内容についての適否の判断や会場施設の確保等を行ったうえで依頼してください。
- 講演テーマの概要はホームページに記載しておりますので、事前に必ずご確認ください。
- 派遣する講師は会場周辺に不案内なことがほとんどです。最寄の駅からは極力送迎をお願いいたします。
- 派遣決定後、講演内容や使用機器等の詳細な打ち合わせ、および当日の待ち合わせ等の調整については、主催者側が講師と直接行ってください。
- 講演の記録（録音・録画）は事前に必ずご相談ください。
- 講演会終了後は、必ず報告書のご提出および全受講者を対象としたアンケート（いずれも本学作成）にご協力ください。



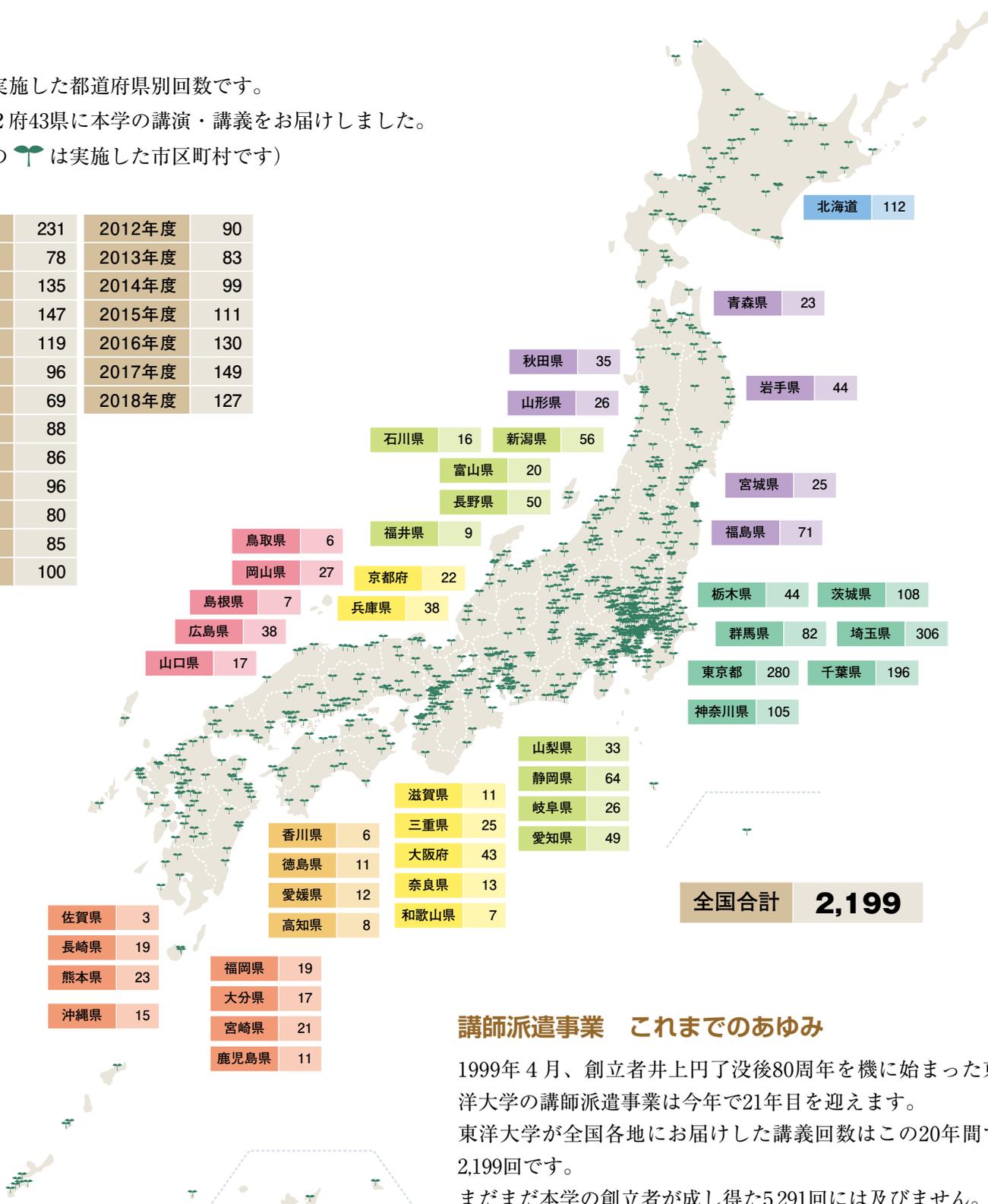
# 現在の講師派遣 1999年度～2018年度

20年間に実施した都道府県別回数です。

1都1道2府43県に本学の講演・講義をお届けしました。

(地図上の  は実施した市区町村です)

1999年度	231	2012年度	90
2000年度	78	2013年度	83
2001年度	135	2014年度	99
2002年度	147	2015年度	111
2003年度	119	2016年度	130
2004年度	96	2017年度	149
2005年度	69	2018年度	127
2006年度	88		
2007年度	86		
2008年度	96		
2009年度	80		
2010年度	85		
2011年度	100		



## 講師派遣事業 これまでのあゆみ

1999年4月、創立者井上円了没後80周年を機に始まった東洋大学の講師派遣事業は今年で21年目を迎えます。

東洋大学が全国各地にお届けした講義回数はこの20年間で2,199回です。

まだまだ本学の創立者が成し得た5,291回には及びません。

今後も地域と東洋大学をつなぐ創立者の志をお届けしていきたいと思ひます。

お問い合わせ

東洋大学 社会貢献センター(エクステンション課)  
www.toyo.ac.jp/site/haken/

〒113-0021  
東京都文京区本駒込1-10-2 東洋大学 雨水会館1階  
TEL 03-3945-7637